＜会合連絡会＞ ＜町内会＞ ＜第06号＞ 1994年09月30日

ふかまちのまど

自転車等の交通事故防止

（ハ）駐在所　大河原裕一

主要地方道尾道～三原線も清水橋周辺が拡幅整備された他、如水館高校の開校、さらに長年の願望であった太郎谷バイパスの開通予定等近年一気に整備が進められ交通環境も大きく変わりつつあります。

さて交通環境の変化により、私が現在一番心配しておりますのが自転車による交通事故です。

太郎谷を高速で滑走し、見通しの悪いカーブを急角度で切り込んで行く姿を見るとただ「対向車が来ないでくれ」と祈るだけです。

また近い将来二中の工業高校跡地移転が計画されており、歩道が整備されているとはいえ、通学生徒等が急な下り坂をブレーキや安定性が不十分な自転車で滑走した場合に、交通事故の発生が懸念されます。（以下本文）

そこで次の事をお願いします。

①第一に自転車の持つ危険性も認識して下さい。

②ブレーキ装置の点検をして下さい。

摩擦ゴム・ワイヤーの劣化等。

③足のとどく体に合った自転車を。

④最後に自転車で交通事故に合った場合、軽傷でで済む事は希です。

交通事故の防止は『おもいやりとゆとり』から始まります。

私の経験から大半の事故は、駐在所管内居住者の方が当事者になっておられます。

一人一人が交通事故に注意し、交通事故の無い安全な深町が益々発展します様に願っております。▲▲

平等院

福井　望

二日目の始めに平等院に行きました。平等院鳳凰堂は藤原道長の子、頼道によって一〇五三年に造られました。鳳凰堂は阿弥陀如来をまつる阿弥陀堂のことですが、鳳凰という本当にはいない鳥が羽を広げたような形をしているのでこうよばれます。

屋根の上にも二羽の鳳凰が立っていました。まん中にある仏像はゆったりとした親しみのある顔をしていて金ぱくもよく残っています。とびらの上の方に丸い窓をつけて、池の向こうからもみんなに仏像の顔がみえるように造られていました。

私達は、早く来たので堂内には入りませんでしたが、広い庭をぐるっとまわって見学しました。堂の前の阿字が池にうつった平等院はとてもきれいでした。こんな建物や仏像を作らせた藤原氏は、とても大きな力をもっていたことがよくわかりました。▲▲

☆　☆　☆　☆　☆

二条城

高田修史

二条城は、徳川初代将軍家康が一六〇三年に作った城です。大阪城の天守閣のように高い建て物はありません。入る所は、大きな門があって中に広場や、二の丸御殿という将軍がいた所がありました。

広いろう下はうぐいすばりというつくり方で、歩くと「ギーギー」と音が出るようになっていました。ゆっくり静かに歩いても音が出ます。人が来たことがわかるようにしていたのだと思いました。

先生の説明を聞きながら御殿の中を一まわりしました。城のまわりには堀があって、大きな石が積み上げてあり、庭もとても広くきれいでした。

徳川家康の力がどれだけ大きかったか、二条城を見ただけでもよくわかりました。▲▲

クリーン作戦に参加を

深町　女性会

先月この会報でお知らせしました県道清掃を予定どうり一〇月二日(日)午前七時から行ないます。多数の参加をお待ちしています。

県道は深町の廊下です。利用される人々の心がなごむ道にしたいものです。約一時間の予定です。

お知らせ

例年一〇月中旬に行なってまいりました、干川神社のお祭り行事を、今年は中止いたします。早ばつ被害とそれに伴う出費多端のためです。ご了解下さい。　宮　総代会

各種団体一〇月行事予定

★小学校

▼稲刈り10/1 ▼二中ブロック教育フォーラム10/10 ▼社会見学(遠足) 10/14 ▼人権参観日並びに保護者学習会10/18 ▼城山登り10/22 ▼児童全校集会10/28

★子供会

▼第一六回市創作大会10/23

★消防団

▼秋の火災予防運動

★女性会

▼役員会10/1 ▼親睦会上10/22・中10/1・下10/7 ▼グリーンデー10/2

★尚寿会

▼世代交流ゲートボール大会10/18

★下町内会

▼役員会・臨時総会（渓流改修並びに道路整備の件）

展望席

運動会からかけっこがなくなったようである。何故なくなったかその理由が是非知りたい。我々の時代には教室で果せぬ夢を運動会で最大限に示したものである。我々にとって運動会は、自分の存在をアピールする格好の場であった。▼ご存じのとうり日本は今、規制緩和を軸とした自由競争の動きが活発である。企業間、企業内の熾烈な競争はすでに経験ずみである。この傾向は今後ますます激しくなるだろう。▼学校社会は隔離された温暖な環境と思えるが、それはほんの数年間にすぎない。実社会は格闘技と同じで人情の入る余地は極めて少ない。▼学歴と勤続年数を基軸とした日本的雇用体系は確実に変わりつつある。大企業でも五十歳は事実上の定年である。そのうち三十代の校長先生が生まれるかも知れない。このような時代背景の中で運動会でかけっこが失くなったことの意味をどう考えたらよいのだろうか

所長・支所・JA・局・郵便局・駐在所・小学校・中学校・